

科目	単位(時間数)	時期	講師名(職名)(時間数)
※ 助産診断・技術学Ⅲ	2(45)	1学期	① 教員(助産師) (21) ② 院内講師(助産師) (4) ③ 院外講師(助産師) (2) ④ 院内講師(助産師) (8) ⑤ 院内講師(助産師) (10)

目 標

産褥・新生児期における母子助産過程の展開に必要な診断と技法、および助産の実践に必要な基本技術を修得することが出来る。

回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	産褥期の助産診断と助産過程の展開 【事例学習】	1) 産褥期の助産診断、診断類型 2) 経過診断 産褥復古の診断 3) 健康生活診断 基本的ニード、心理的側面、社会的側面、出産育児行動	講義	①
2	2		4) 産褥期の助産診断(京野 都さん事例) ①産褥1日目の助産過程の展開1 パラグラフ1	講義 GW	
3	2		②産褥4日目の助産過程の展開2 パラグラフ2	講義 GW	
4	2	新生児期の助産診断と助産過程の展開 【事例学習】	1) 新生児期の助産診断、診断類型 2) 経過診断 生後24時間以内の生理的变化 胎外生活適応の診断(生後24時間以降) 新生児の成熟度評価 (外表的所見、神経学的所見) 生理的黄疸、生理的体重減少の診断 正常逸脱の診断とケア 3) 健康生活診断 養護、環境 4) 新生児期の助産診断(京野 都ベビー事例) ①生後24時間以内の助産過程の展開1 パラグラフ1	講義 GW	
5	2		②生後4日目の助産過程の展開2 パラグラフ2	講義 GW	

6	2	産褥期の助産技術	<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥復古を促す援助 2) 日常生活の援助 栄養、排泄、睡眠、動静、清潔 不快症状とセルフケア 3) 育児、家庭生活へ向けての援助 入院中の保健指導：育児、授乳 産後の動静、性生活、家族計画 4) 親役割獲得の援助 母子・父子関係 5) 退院後の継続ケアと地域社会資源との 連携 	講義	①
7	2	産褥期の正常経過からの逸脱の診断とケア	<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥の正常逸脱が予測される分娩時の 状況とリスク査定、予防、早期発見・ 対処 ①分娩に伴う損傷 (会陰裂傷Ⅲ度以上、外陰部血腫) ②弛緩出血後 ③子宮復古不全 胎盤ポリープ、晩期産褥出血 ④産褥熱、尿路感染症 ⑤恥骨結合離開 ⑥マタニティブルー、産褥精神障害 ⑦乳腺炎 	講義	②
8	2		⑧帝王切開術前・中・後のケア	講義	
9	2	心理・社会的問題をもつ褥婦のケア	<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥うつスクリーニング (EPDS) 2) 虐待のリスク査定と多職種連携 3) 特定妊婦の地域連携 	講義	
10	2		<ul style="list-style-type: none"> 4) 周産期のメンタルヘルス ・マタニティブルーズ ・産後うつ 	講義	③
11	2	乳房ケア	<ul style="list-style-type: none"> 1) 母乳育児推進 2) 乳房ケア ・産後の乳房の変化と乳汁分泌の生理 ・乳房ケアの基礎理論 (ラクテーション、 BS ケア、SMC、桶谷式など) 	講義	④
12	2		<ul style="list-style-type: none"> 3) 母乳育児支援の実際 ・ポジショニング、ラッチ・オン ・母子分離時のケア ・補足の判断 	講義 演習	
13	2		<ul style="list-style-type: none"> 4) 母乳栄養確立への支援 ・出産前教育 ・産褥入院中のアセスメントと評価 ・退院後の母乳栄養継続への支援 	講義	

14	2		5) 特別な支援を必要とする場合のケア ・乳汁うっ滞時のケア ・乳腺炎のケア ・断乳を余儀なくする場合	講義	④
15	2	新生児期の助産技術	1) 新生児の健康診査法、諸計測 ・系統的診察法、バイタルサイン測定 ・成熟度評価、神経学的評価法	演習	①
16	2		2) 新生児の沐浴の実際 新生児の沐浴技術		
17	2		沐浴技術試験 リフレクション	試験	
18	2	ハイリスク新生児の診断とケアの実際	1) 出生後 24 時間以内の生理的变化、アセスメントとケア 2) 早期新生児期（生後 7 日目まで）のアセスメントとケア	講義	⑤
19	2		3) ハイリスク新生児のケアの原則 (1) ファミリーセンタードケア (2) ディベロップメンタルケア (3) 母乳育児への支援 (4) 感染対策 (5) フォローアップ (6) ハイリスク新生児のケアと倫理的課題 4) NICU の管理	講義	
20	2		5) アセスメントとケアの実際 (1) 体温管理 (2) 呼吸・循環管理 (3) 黄疸の管理 (4) 栄養管理 (5) 合併症に対するケア (未熟児網膜症、未熟児貧血等)	講義	
21	2		6) 親子関係発達促進ケア 7) 退院時期のケア (1) 障害なく退院する児・家族へのケア (2) 地域連携 ・障害を持って退院する児・家族へのケア ・医療的介入が必要なまま退院する児・家族へのケア ・死亡退院の場合の児・家族へのケア	講義	

22	2		8) ハイリスク新生児のケア【演習】 ①保育器の原理、取扱いの実際 ②入院受け入れ～急性期ケアの実際 ③保育器収容中の児のケアの実際 観察、環境調整、おむつ交換、 ④ディベロップメンタルケア	演習	⑤
23	1		筆記試験 (45分)	試験	①
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 80点 (講師①30点、講師②10点、講師④20点、講師⑤20点) ・技術試験：沐浴技術 20点 (講師①) <p>*筆記試験、技術試験をそれぞれ合格することで単位認定する。 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。</p>				
テキスト	講師① <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座7 ・助産学講座8 ・助産師基礎教育テキスト7 講師② <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座7 ・助産師基礎教育テキスト7 講師③ <ul style="list-style-type: none"> ・助産師基礎教育テキスト7 講師④ <ul style="list-style-type: none"> ・母乳育児支援スタンダード ・助産学講座7 講師⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座8 ・助産師基礎教育テキスト7 				
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ診断ガイドブック ・助産業務ガイドライン2024 「正常分娩急変時のガイドライン」 ・エビデンスに基づく助産ガイドラインー妊娠期・分娩期・産褥期2024 ・日本助産学会 (日本助産学会ホームページ参照) 				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・事例学習は予習を前提として授業に臨むこと。 ・講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。 <p>※この科目は実務経験のある教員による授業科目である</p>				